

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572609220		
法人名	有限会社 生保内福祉会		
事業所名	グループホーム 優優		
所在地	仙北市田沢湖生保内字街道ノ上36-8		
自己評価作成日	令和5年9月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和5年10月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

新型コロナウイルス禍であったが、桜や紅葉などドライブに出掛けている。ホームの隣には畑があり、職員と利用者が一緒に作業をし、収穫した野菜を献立に取り入れ季節の旬のものを味わっている。また、年越し・お雛様・彼岸・こどもの日・母の日・敬老・クリスマス・入居者様の誕生日などに行事食を提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

心身機能の低下が著しい利用者が多くなってきていることから、個別リハを行ったり、可能な方は毎日の活動にラジオ体操を取り入れたりして機能が少しでも維持できるよう努めています。コロナの影響で家族との関り方も変わってきていますが、毎月のお便りで利用者の様子を伝えることで家族が安心して過ごすことができます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が見えるところに理念を貼り出しており、代表者、管理者、職員は理念を共有して実践につなげている。	新任職員の入社時に代表が理念について話している他、年に1度の自己評価の際に職員それぞれが理念を振り返る機会としています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2ヶ月に1度床屋さんが来てくれているが、利用者のADL低下により、買い物に行く事ができなくなって、ほとんど交流がない。	積極的な交流は控えています、町内会の活動として職員がごみ拾いに参加しています。また、近所のスーパーで買い物をし、ホームの草刈りをしてくださる方もいて地域の中にあるホームとして活動しています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議を開いたり、認知症なんでも相談所を設置している。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所での日頃の活動や受診状況、介護度状況、研修報告等、情報交換を行い委員の皆様から意見を頂き、サービス向上に活かしている。	状況報告を行い、参加者の意見等を議事録として残しています。	参加者の意見を引き出す工夫をして地域との関わり方について職員とも会議後に具体的に話し合い、会議の効果的な活用及び取り組みの検討を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に行政職員が出席しており、事業所の実情を伝え、指導・助言を得ている。また、福祉事務所とも生活保護について連携を図っている。	包括支援センターを窓口にして担当部署と連携を図ることが多く、入居に関する相談をする等、日頃から連絡をとっています。	
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束をしないケアについては、職員会議で話し合い、マニュアルを良く把握して、理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	言葉かけの仕方に注意し、チェックリストを用いて不適切なケアがないか振り返りを行っています。	利用者の機能低下によって職員の負担が増えてきているようですが、予測されることを状態に応じて検討し、身体拘束をしないで安全に過ごせる工夫を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は施設内研修で日常生活自立支援事業や成年後見制度を学びそれらを活用できるようにしている。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は、ご家族様や利用者様の話しを良く聞き十分な説明を行い、納得・了承を得たうえで契約や解約を行っている。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	苦情相談受付窓口として管理者や行政機関、その他の苦情受付窓口として介護保険事務所、国保連、仙北市長寿支援課もある事を説明し、ホーム内にも掲示している。またケアプラン作成や評価時に意見・要望を聞き反映させている。	家族から運営に関する意見が出ることはあまりないようですが、状態に変化がある場合には電話で伝え、その際に要望等を聞くようにしています。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	日常的に朝、夕の申し送りや毎月の職員会議で、意見や提案を聞く機会を設けたり、職員一人一人が年2回社長と面接をしている。	職員の意見は管理者を通じて代表に伝えられ、代表がホームを訪れることが多いことから状況を把握しやすい環境にあります。利用者の状態に合わせた勤務形態の提案を取り入れる等、運営に反映させています。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流や勉強会に参加する機会ほとんどない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期段階で、本人の希望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保する関係作りに努めている。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に施設見学等をしたり、サービスを導入する段階で家族の要望等に耳を傾けながら、関係作りに努めている。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は共に生活するという目標意識を持って関係を築いている。また日常業務にとらわれ過ぎず、利用者様のペースを大切にしている。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には電話や毎月のお手紙にて状況報告を行っている。本人が電話したい時は、いつでも電話をかけたたりしている。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	新型コロナウイルスの市中感染状況により、面会制限したり解除したりしている。	コロナ禍のため、家族と会うことはなかなか叶いませんが、電話を通じてその関係継続の支援に努めています。訪問理容の利用や、行きつけの美容院に出かけて交流を続けています。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	殆どの方が日中リビングのソファで過ごされており、お話しをしたりテレビを見て過ごされている。また利用者同士のトラブルには迅速に対応し、関係が悪くならないようにしている。		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても相談があれば、フォローできるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントをして、それを活用しながら本人の希望など取り入れ本人本位に検討している。	思いを伝えることができる方は希望を聞き取り、日々の生活に取り入れています。困難な方については状態を観察し、気づいたこと等を申し送り、共有しています。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の暮らしを意識しながら、生活を支援するよう努めている。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	毎月ケアカンファレンスやサービス担当者会議を行い、入居者様やご家族様の要望を聞き、介護計画を作成している。	カンファレンスで全職員の意見を聞いて、介護計画を作成しています。家族には事前に意見書に要望等を記入していただいています。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録や業務日誌、連絡ノートで情報共有し、実践や介護計画の見直しをしている。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染予防のため、地域の行事には参加していない。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	市立田沢湖病院、市立角館総合病院、高橋医院、協和病院、加藤ファミリークリニック、くぼた歯科、クオール薬局と連携し、適切な医療が受けられるよう援助している。	以前からのかかりつけ医で受診しています。歯科については訪問診療の対応が可能です。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	伝言ノートに利用者の情報や気付いた事を書き、週1回看護師が来たとき、指示を仰いだり、緊急時は電話で看護師の指示を仰ぎ相談している。また市立田沢湖病院の看護師にも相談でき、アドバイスを受けながら支援できる体制をとっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院先の医師や看護師、ケースワーカー等と情報交換を行い、入院中でもご家族と連絡を取り、安心して過ごせるよう援助している。また必要に応じ入院中に洗濯物を届けたりして、関係作りに努めている。		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を伺い、医師の意見や診断をもとに、ホームとして「出来る事、出来ない事」をはっきり見極め、今後のケアの方針についてご家族とホームが納得できるよう話し合い、ケアに取り組んでいる。	ホームとして対応できることを説明し、可能な限りホームで生活できるよう支援しています。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生の講習を定期的に受けていたが、新型コロナウイルス感染予防のため、講習には参加していない。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、夜間を想定した避難訓練を行って避難する方法を身につけており、地域との協力体制も築いている。	有事に地域の協力が得られることになっていますが、訓練に参加していただいたことがなく、特に夜間の職員が少ない時間帯の避難等、今後の対策に更に検討の必要があるものと思われます。飲食料は備蓄しています。	さまざまな災害時の対応方法について運営推進会議を活用しながら、関係者、全職員が積極的に協議し、前回の目標達成計画と併せて具体的な取り組みを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーには十分気を付け、1人1人の人格を尊重しながら対応している。	利用者それぞれに合わせた声かけをしています。特に自身でトイレに行くことができる利用者の排泄時の対応には配慮しています。	居室入り口が開けたままになっていることから、排泄用品の保管の仕方に配慮した対応を期待します。
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	馴染みの物や愛着のある服などを持参して頂いている。日常的に鏡を見ることが出来、本人も身だしなみを意識できるよう支援している。		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みや季節のもの等をメニューに取り入れ、食事の準備や後片付け等できる事をしている。	コロナの影響で外食は控えていますが、食べたいものを聞いてメニューに取り入れたり、山菜や行事等で季節のものを提供して食事を楽しむことができるようにしています。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては肉、魚、野菜等バランスよく調理している。本人の状態に合わせ食事時間以外にも水分補給している。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食前後に入居者全員、口腔ケアをしている。希望により歯科受診し、歯科衛生士による口腔内清掃をうけている。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の力や排泄パターン、習慣を活かして出来るだけトイレでの排泄を促している。	その人に合った排泄用品を使用し、個々のパターンに応じた支援が行われています。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックを行い、排便状況を把握している。毎朝のラジオ体操やストレッチ体操などの運動をしている。また、状態に応じ、かかりつけ医に下剤の相談をして便秘にならないように援助している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日に全員が入浴できるように支援しているが、入れない時は別の日に入浴したりし、個々に添った支援をしている。	週2回入浴してしています。拒否がある場合には無理せずに、入りたい日に入っています。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の生活習慣を把握し、夜眠れない時は温かい物を出したり、個別に話を聞いたりして、少しでも不安をなくし眠れるように支援している。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人1人の薬の内容や効果、副作用、用量などを良く把握し、いつでも確認できるようにしている。必要時はかかりつけ医や薬剤師に確認できる環境である。新しい薬は調べて、情報を全員で共有している。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	台所作業や掃除など、その人に合わせた役割を行っている。楽しくリハビリ体操や歌、塗り絵などすることで、気分転換をしている。また、その人の趣味も活かして、裁縫など出来る事を支援している。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人で出かける事は少ないが、希望者をドライブに出掛けられるように支援している。	コロナの影響で制限が多いものの、散歩に出ることで外気に触れる時間をつくっています。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様はお金を所持しておらず、欲しいものがある時は職員が代行して預り金で買っている。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適な生活空間で過ごせるよう、温度管理や清潔に気をつけている。またホームの壁等に季節の絵を張ったりして、季節を感じられるように工夫している。	その時々季節に合わせた装飾をし、皆で作ることで季節を感じ取ってもらえるようにしています。廊下の天井には明り取りの窓がつけられ、また、入浴のない日には緊急用に浴槽に水を張っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファがあり、気のあった利用者同士で話ができるようにしている。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を使用し、安心して過ごせるように工夫している。	誕生日の色紙等で壁を飾っている他、本があることで安心できる方のために壁に本棚を造ったりして利用者の状態に応じて生活環境をつくっています。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事はやってもらい、トイレは夜間電気をつけたままにして、自分の部屋が分かるようにしたり、普段使用する物の場所を一定にし、混乱が無いよう工夫している。		